

NEWSLETTER

NO. 7

10 JUNE 91

- | | | | |
|-----------------------------|-----|---------------------|-----|
| ・巻頭言 | (1) | ・教室をめぐる動き：1991年度人事 | (1) |
| ・新任教員からのメッセージ | (2) | ・教員の研究活動 | (2) |
| ・1991年度教員在室時間割 | (4) | ・1990年度卒業論文主題一覧 | (5) |
| ・1991年3月卒業生の就職先 | (6) | ・地理学科卒業生に対するアンケート調査 | (7) |
| ・地理学教室の昨年度予算の使途と購入図書・備品のリスト | | (11) | |

巻頭言

存在を主張するために

長島 弘道

4月26日から11日間ボーイスカウト千葉地区の一員としてアメリカ合衆国ヒューストンに行ってきました。7日間のホームステイ、2日間のキャンプで得たところは多々ありましたが、私にとって最も印象深かったことはアメリカのボーイスカウトが、ボーイスカウトに参加できない子供たちを対象にした行事を計画したり、児童虐待 (Child abuse) やドラッグ (Drug abuse) の問題にどう対処するかについて両親向けのパンフレットを刊行するなど、少年を育てる組織として社会にその存在を主張していることでした。これに対して日本のボーイスカウトはマニュアルをこなしているだけではないかとの疑問がわいてきました。

帰国して最初の授業の時、紺のスーツを着ている学生がいたので、見合いにでも行ってきたのかと聞くと、ある企業が主催するセミナーが新宿のホテルであったので参加したとのことでした。この時期、この種の求人第一段階とでもいうべきセミナーの案内が、毎日10通以上も届けられ、都内のホテルでは複数のセミナーが連日のように開催されるとのことでした。学生は3年から4年にかけて最も伸びると考えていた私にとってこれは少なからずショッキングなことでした。

学生にとっては就職は重要なことであり、企業にとっても人材確保はきわめて重要なことです。したがって両者が就職と求人に真剣になるのは当然のことです。このような状況の中で学生は卒論を書くことになります。卒論を書くことによって力をつけて卒業して行った学生は何人もいます。その卒論がこうした状況で取り組まざるを得ないとなると、それは単に学生ひとりの問題ではなく大学の存在そのものにも関わる問題です。日本の大学はマニュアルをこなすことから果してどれだけでいいのか。その存在を主張するために何をどうしようとしているのか。ヒューストンから帰っての新しい課題です。

教室をめぐる動き

1991年度人事

<退任>

- 大崎 晃 先生 (教授、川村学園女子大学情報教育学部へ転任)
太田 晃舜 先生 (助教授、停年退職)
上野 和彦 先生 (非常勤講師、本務校の都合により退任)

<新任>

- 瀬戸 玲子 先生 (教授、地図学などを担当)
内田 順文 先生 (講師、都市地理学などを担当)
許 衛東 先生 (非常勤講師、経済地理学などを担当)
川上 誠 先生 (非常勤講師、教職、地理学を担当)

長い間地理学教室を支えてこられた大崎晃先生が転勤され、太田晃舜先生も停年退職されました。そして新たに瀬戸玲子先生と内田順文先生が着任されました。瀬戸先生は地図学に詳しい先生であり、内田先生は地理的イメージという地理学の新しい分野に取り組んでいらっしゃる先生です。

これまで非常勤講師として経済地理学、地域開発論を担当しておられた上野和彦先生が本務校の都合で辞められることになりましたが、代わりに中国出身の許衛東先生をお迎えすることができました。しかも、発展途上地域の地誌を担当していただけることになり、我々にとっても誠に有難いことです。

教職課程変更にともない高校地歴の充実が求められています。この教職課程を担当して頂く川上誠先生を非常勤講師としてお迎えすることができました。授業は政経学部と法学部ですので、地理学専攻の学生は直接講義を受けることはありませんが、川上先生は日本の農業問題、特に請負耕作については大変詳しい先生ですので、この方面に関心のある学生は積極的にアタックするよう期待しています。(長島 弘道)

新任教員からのメッセージ

あらためてメッセージ

瀬戸 玲子

、非常勤講師として3年来ているが、専任になったので改めてメッセージをとうことです。沼津市生まれ。県立千葉女子高校を経て、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。卒論は「農地改革による農村の変貌」で、埼玉県4村を対象とした。国家公務員採用試験六級職(現I種)地理職に合格して建設省地理調査所(現国土地理院)に就職。この年の建設省六級職採用者70数名のうちただ1人の女性であり、地理調査所初の女性の建設技官となった。組織で仕事をするので、自然・人文の区別はもとより、地理であるのかないかも関係なく2~3年で担当の仕事が変わったが、主なものに人口地図、土地利用図、水利利用図、雪地図、自動車交通量図、メッシュマップ関係などがある。5万分1土地利用図1面を分担して真夏に2ヵ月出張して調査したことや、新規または改正案の企画、関係官庁との調整や資料収集、外注会社の監督をして地図や報告書をまとめるようなことをした。これらをもとに論文を書き、また日本中の地図・空中写真を見ることができたので、解説を雑誌に連載したりした。建設大学校の教官として職員の研修にも携わった。

公務員時代も2年は兼業で講師ができたので、その経験を生かし退職後はあちこちの大学の非常勤講師をかけもちしてきた。地理学が実社会で役立つ大きなことに、地図のよみ方、利用の仕方、空中写真判読があり、多くの学生にこの能力を備えてもらいたいと思ったからである。現在も学芸大、法政大、明治大で6コマ持っている。

地理院時代に出張や旅行で日本中を回ったので、公務員をやめてからは年1~2回海外に出かけている。気候、植生、土壌、地形、都市、集落、土地利用、民族、文化の地域的特色や地域差をグローバルスケールで見られるこの機会ほど地理学の興味をかき立てるものはない。

学生時代にできるだけ多く地図、空中写真に接し、現地を見る機会を増やすと地理学に対する関心がぐっと高くなる。また地理学を勉強するにつれ、質量共に豊かになっているテレビなどの映像から地理的情報をよみとる能力が高まる。卒業後、全く地理と関係ない仕事についていたとしても、この能力が人生を豊かにすることは間違いない。

気軽に声をかけて下さい

内田 順文

本業の地理学のことはともかく、以下の64種の道楽を20年来の趣味(重荷)としています。どれかに興味のある方は気軽に声をかけて下さい。

旅、口笛、自転車、観光パンフレット、川柳・狂歌、作曲・作詞、切手、お菓子の空箱、時刻表、鉄道・船・航空機、胡琴、ハーモニカ、占星学、タロット、易、テレビ主題歌、大相撲、プロ野球、サイコロ相撲・紙相撲、歴史・戦史、双六、コンピュータゲーム、プラモデル、踊り、歌、語学、漫画・アニメーション、怪獣・妖怪、神話・伝説、日曜大工・園芸、地図、岩石・化石、天文学、紙細工、切符・入場券、クイズ、落語・漫才、講談・浪曲、医学、篆刻、映画、神秘学、料理、高い所に登る、宗教・イコン・曼陀羅、中国拳法、剣術、百面相・腹話術、国宝完覧、美術館・博物館、芸能ニュース、動物・植物、書籍のパンフレット、和菓子・洋菓子、ファンタジー、ミステリー、カクテル、駅弁、テレビ出演、硬貨・紙幣、ミニチュア、世界の一部の収集、小説創作、趣味収集。

なお、このうちの二つにかかわるクイズ番組への出場については、東京へ来たことの数少ないメリットでもあり、並ならぬ関心を持っております。パートナーを捜している人はいませんか?一応、これまでの戦績は4戦2勝(賞金商品獲得総額は約120万円)です。

教員の研究活動

長島 弘道 教授

＜研究活動＞

著書:

1991 『ハンガリー』 浮田典良、大林太良監修「世界の国々に大百科」 第2巻、ぎょうせい刊。

口頭発表:

1990 Land Resource Issues in Tokyo Metropolitan Region. Meeting of IGU Commission Changing Rural Systems, Ljubljana, Yugoslavia.

1991 ハンガリーにおける都市近郊地域の最近の変容 - ガーデンを中心として - . 日本地理学会春季学術大会.

集中講義: 「地域地理学特講」 岩手大学人文社会科学部 1991年1月16-19日.

その他: 卓話「ハンガリー 人と生活」 東京大森ロータリークラブ 1989年11月.

瀬戸 玲子 教授

＜研究活動＞

著書:

1991 「imidas」(集英社刊)の各種地図、投影、数値情報とコンピュータマップ関係の項を分担執筆.

＜近況＞

技術革新のめざましい地図学、測量学の新しい知識の吸収にいそがしい。

野口 泰生 助教授

＜研究活動＞

論文等:

1991 Tree Ring Widths and Hydrometeorological Variables in Nagano Prefecture, Japan. Climatological Notes, 40, 229-239.

1991 アメリカの大学における一般教育と教育体制、国土館大学教養論集、4, 60-64.

1991 日本における気温変化と森林気象災害との関連について、気候学・気象学研究報告(筑波大学地球科学系) 16, 52-61.

1990 書評・書籍案内: 「日本に森林はいらないか」「森林保護から生態系保護へ」「沙漠緑化への挑戦」「沖縄の気象」「リゾート開発への警鐘」「異常気象と環境破壊」、地理月報9~11月号

口頭発表:

1991 Climatic Variation and Its Implication to Snow/Frost Damages on Forest Resources in Japan. International Conference on Climatic Impacts on the Environment and Society (CIES), Tsukuba, Japan. (January 1991)

1991 日本の気象官署における気温の永年変化と都市化の影響について、日本地理学会春季大会.

1991 Dendroclimatic Relationships of Akamatsu (Pinus densiflora) and Karamatsu (Larix leptolepis) in Central Japan. Pacific Science Congress, Honolulu, Hawaii (May 1991).

＜現在の研究分野＞

気候変化の問題を気象データと植物指標の両方を用いて扱っていきたい。

＜近況＞

教員組合の仕事から早く解放されたい。しかし、組合ニュースの方がすぐに反響があって書き甲斐とスリルがあることも事実。

長谷川 均 講師

＜研究活動＞

論文:

1990 「サンゴ礁の白い島 サンゴ洲島とその地形変化」『熱い自然 日本のサンゴ礁地域1』

サンゴ礁地域研究グループ編 古今書院発行に所収。同書の編集および分担執筆(本文・解説等)。

1990 「琉球列島久米島でみられるサンゴ洲島の海岸線変化」地理学評論 63巻 -10号. 676-692頁.

1990 「サンゴ礁地形判読のためのLANDSATカラー合成画像の検討」国土館大学文学部人文学会紀要. 第23号. 119-136頁.

1991 「サンゴ礁環境のデータベース化と時空間分析」目崎 茂和・前門 晃・長谷川 均・中森 亨に執筆分担(2, 3, 5, 6章)。文部省科学研究費 近代化による環境変化の地理情報システム 平成2年度総合報告書(1). 228-229, 295-301 頁. に所収。

その他: 「地理」、「ダイビングワールド」誌に写真提供。神奈川新聞、ヤングジャンプ、UPU BOOK(企業誌)の取材を受けインタビューが掲載された。高知県大手浜サンゴ調査(日本自然協会からの依頼: 「自然保護」誌 1991年, 3月号参照)がNHK TV で放映された。

＜現在の研究活動＞

サンゴ礁の画像解析と環境調査。今年の夏も石垣島で「夏の学校」。興味・体力と協調性のある人はどうぞ。

＜近況＞

交通至便、夜遊び便利、窓から高速道路が見える“ルンルの都心のアパート”から郊外に公害を避け、田園都市線は緑区の丘の上へ転居。榎が丘という新興地にありがちなわざとらしい地名だが、空気はきれい。

いま読んでいる本に『現代人は「闇」のコスモロジーを、妖怪どもが徘徊する異界を失ってしまっている・・・光に満ち・・・』とある。しかし、いま私の居る窓辺からは眼下に広がる林が見え、カラスが哭く竹藪までそろっている。夜は暗闇が怖くて出歩けない。そんなところが“横浜のチベット、緑区”さ。

内田 順文 講師

＜研究活動＞

口頭発表：

1990 「比喩的認識と場所イメージ」 人文地理学会 1990年度大会。

＜現在の研究活動＞

小京都に関して論文執筆中。姉妹都市、芦屋のイメージの変化、合併都市のイメージ、のそれぞれについてデータを収集中です。

1991年度 教員在室時間割

Na: 長島 Se: 瀬戸 No: 野口 Ha: 長谷川 Uc: 内田 イニシャルは講義時間を示す
 : 鶴川校舎 — : 在室時間または講義、 : は在室していることが多い

	9:00-10:30	10:40-12:10	12:50-14:20	14:30-16:00	16:10-17:40
月	-----	Uc Uc Uc Uc Uc	-----	No No No No No No No No No	
火		Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha	Uc Uc Uc Uc Uc Uc Uc Uc Uc	No No No No No No No No No	Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na
水		Se Se Se Se Se Se Se Se Se Se Se Se Se Se Se Se Se	-----	Uc Uc Uc Uc Uc Uc Uc Uc Uc	
木		-----	Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha	Se Se Se Se Se	-----
金		Na Na Na Na Na Na (前期前半) Se Se Se Se Se Se (後期後半) No No No No No No (前期後半) Ha Ha Ha Ha Ha Ha (後期前半)		-----	No ----- Ha -----
土	Se Se Se Se Se Se				

・第3または第2金曜日は教室会議・教授会があり全員が出校しています。・上記時間以外の面会、相談などは Appointment によります。相談、質問などは教員の出勤中に済ませて下さい。教員の自宅、特に非常勤の先生宅への電話は極力ひかえて下さい。・研究室の電話は、03(5481)3245(長島・瀬戸・内田), 3246(野口・長谷川)。
 ・文献・機材の借りだし返却は、各目のゼミの指導教員をとおしておこなうこととします。

1990年度 卒業論文主題一覧

- | | |
|-------------|--|
| 72601 本田 潤一 | 千葉県市原市における臨海工業地帯の形成と構造 |
| 72605 小山 茂幸 | 長野盆地におけるりんご栽培地帯の形成 長野市を中心として |
| 72607 金谷 広幸 | 茨城県猿島郡総和町における工業化形成の要因 |
| 72610 井口 昇 | 南西諸島における日射量と日照時間の関係 |
| 72611 吉野 紳一 | 浦安市における緑化意識と緑化事業について |
| 72612 石塚 正信 | 茨城県笠間市における笠間焼の立地変遷と現状 |
| 72613 荒井 信征 | 茨城県稲敷郡美浦村における農業の展開と企業誘致における影響 |
| 72615 井上 貢一 | 福井県三方郡三方町西浦地区における漁村の変貌 |
| 72622 松本 伸 | 千葉県北西分におけるニュータウン開発 高齢者にとっての千葉ニュータウン |
| 72617 山口 啓 | 八王子市における女物着尺業者の業種内転換について |
| 72618 岩田 義治 | 神奈川県川崎市における大気汚染と地衣類の関係 ウメノキゴケを指標として |
| 72619 神崎 康弘 | 南房・平砂浦における土地利用の変容 |
| 72620 高橋 司 | 神奈川県横須賀港における米軍施設の立地と地域への影響 |
| 72622 松本 良則 | 岩手県釜石市における構造不況地域の活性化政策 |
| 72623 五十嵐 裕 | 肉用牛生産農家における輸入自由化の影響 栃木県那須郡那須町を例にして |
| 72625 黄金崎芳幸 | 都市開発と近郊農業 練馬区春日町六丁目・高松四丁目を例として |
| 72626 兼行 篤 | 高岡市、酒田市における除雪対策と住民意識、対策 |
| 72627 小池 敦 | 鎌倉市とその周辺における「鎌倉彫」の現状と展望 |
| 72628 西川 琢也 | 南房、布良・相浜における漁業の変遷と現状 |
| 72628 篠原 直樹 | 石垣島東海岸礫川下流及び河口域における赤土流出 |
| 72631 諏訪部孝浩 | 東京都多摩市におけるゴミ減量対策 |
| 72633 山崎 義雄 | 東京湾岸・千葉市幕張臨海地区における都市開発 |
| 72634 新堀 博之 | 神奈川県三浦市城ヶ島漁村における現状と展望 |
| 72635 吉野 正宏 | 千葉県東葛地域における河川水害 真間川と海老川について |
| 72637 佐々木健治 | 茨城県竜ヶ崎市における都市化地域の農業 |
| 72638 渡辺 崇 | 横浜中華街の発展と現状 |
| 72639 笠本 和行 | 千葉県鎌ヶ谷市にみる観光梨農園の形態と変遷 |
| 72640 松村 茂 | 千葉県船橋市及び周辺地域における梨栽培と今後の展望 |
| 72642 安藤 勝之 | 南西諸島における降雨強度と土壌に与える影響について |
| 72644 菊池 功一 | 首都圏沿岸地域の冬季と夏季における海陸風発生の特徴とその相違について |
| 72645 保坂 貢司 | 八ヶ岳周辺における風系と冬型気圧配置との関係 |
| 72646 小林 友樹 | 長野県山ノ内町の安南平・竜王両スキー場における環境問題 |
| 72650 高橋 由香 | 石垣島東岸のサンゴ礁における生物起源碎屑物の分布と移動 |
| 72653 田沢 英司 | 茨城県土浦市とつくば市における都市域の違いとヒートアイランドについて |
| 72660 樋口 博之 | 新潟県妙高々原町における観光業の現状と変遷 |
| 72663 戸倉 裕介 | 桜の開花・満開と気温・標高との関係について |
| 72667 柴田 剛 | 横浜市西部境川水系泉川流域における湧水の分布と土地景観 |
| 72670 吉田 徹 | 富山県下新川郡入善町における黒部スイカ栽培について |
| 72671 金政 剛也 | 成田空港建設に伴う土地利用の変容(成田市を中心として) |
| 72672 田村 純一 | 新潟県高田平野における夏季の高温と海風の関係について |
| 72673 増田 憲治 | 埼玉県中枢都市化と大宮駅周辺への影響 |
| 72675 吉田 昭子 | 高崎市における商業地域の変貌と都市再開発計画 |
| 72676 石坂 浩司 | 岐阜県における第3セクター鉄道による地域活性化 |
| 72677 桐山 志郎 | 瀬戸大橋の開通に伴う周辺地域への波及効果 特に香川県高松市における企業の影響 |
| 72678 染野 秀一 | 石垣島白保・カラ岳東海岸のサンゴ礁地形と造礁サンゴの生態・分布 |
| 72681 石井 仁 | 都市農業の現状と役割について 世田谷区を例に |

72683 中沢 利明	長野県南佐久郡における高冷地栽培（キャベツ）について
72684 伊澤 慎一	高齢化社会における老人福祉施設の現状とその考察について 東京都町田市、多摩市、八王子市の場合
72685 山内 浩治	仙台市における事務所需の増加とこれに対するビル建設
72687 深井謙一郎	東京都国分寺市における樹林地減少と保全政策
72691 松柴 礼哉	千葉県市川市における梨農園の現状
72701 増沢 直哉	千葉県勝浦市朝市場の現状と消費者購買意識
72705 平塚 三良	千葉県取手市における土地利用と都市気温との関係
72708 大欠 明	岩手県一戸町奥中山における酪農地域の形成要因と展望
72709 棚橋 裕司	新潟県三島郡寺泊町における砂浜海岸の前進

以上 55 論文。

- ・ 3月におこなわれた全国地理学科卒業論文発表大会では、篠原直樹さん、伊澤慎一さんが発表しました。
- ・ 1986年以降に審査された卒論のなかから、優秀なものや資料的価値の高い88論文が製本され公開されることになりました。年度別、分野別に製本された卒論は第2研究室で閲覧できます。

1991年3月卒業生の就職先

ここに示したデータは、学生から大学に報告された就職先です。業種、職種が特定できないものも多いので、1月現在の就職決定先の名称だけを掲載しました。

- | | | | |
|----------------|-------------------------------------|------------------|-------------------|
| ・ コメリ H & G | ・ 共同コンピュータ | ・ 永禄建設 | ・ T. H. R住宅流通グループ |
| ・ 丸一証券 (株) | ・ 東日本東芝家電販売 | ・ 有隣堂 | ・ 太陽観光開発株式会社 |
| ・ (株) 松本医科器械 | ・ ミサワホーム | ・ 昭苑都市開発 | ・ 信州ジャスコ |
| ・ 春日部市役所 | ・ 飯野不動産 | ・ 三協アルミ工業 | ・ DXアンテナ (株) |
| ・ (株) 古今書院 | ・ エムバ イアボートサービス | ・ 新潟県信用農業協同組合連合会 | ・ 国際電気株式会社 |
| ・ 読売エージェンシー | ・ (株) フジヤ | ・ 日産車体コルポレーション | ・ 日本シムラント株式会社 |
| ・ ネットワーク情報サービス | ・ 小田急バス株式会社 | ・ 東急エアカーゴ | ・ 吉田工業 (株) |
| ・ 東海自動車 (株) | ・ 江戸崎町役場 | ・ 大東港運 (株) | ・ 内外地図 |
| ・ SONY 電子 | ・ ブックランド カミ | ・ 相互住宅株式会社 | ・ 山崎製パン株式会社 |
| ・ アサヒビール飲料 (株) | ・ 千代田メディカル | ・ (株) 三貴 | |
| ・ 東洋精糖 (株) | (この他の進路として、家業手伝い、大学院進学(研究生)などがあります) | | |

★ ☆

★ ☆

★ ☆

★ ☆

地理学科卒業生に対するアンケート調査

(1991年3月卒論公開口頭試験後に実施)

数字は学籍番号とは関係ない回答者番号を示す。また、複数項目に共通する数字は同一人の回答である。誤字を書き改め、意味不明瞭な部分のみ修正したほかは原文のまま記載した。

1. 卒論を書き終えて最も印象に残ること、要望、その他(たとえば、卒論の手引の使い方、論題の決め方、指導の仕方、等)について書いてください。

- 1: 7年間かかってやっと初めて卒論を書き感激した。
- 1: もっと長谷川先生に質問などをして、指導を受けたかった。
- 3: 努力が足りなかった。
- 4: 指導はしていただいたが、私自身が逃げていた。
- 4: 早く手がけるべきだった。
- 5: 内容が煮詰まっても、まず書いて、もっと早くから指導を受けるべきだった。
- 5: 卒論の手引は構成方法など非常に参考になったが、人文と自然で食い違うところが少しし気になった。
- 8: アンケート調査は思ったより大変で、時間がかかるものであった。
- 9: もっと早めにはじめたかった。
- 11: 水中カメラ(ニコノス)がなかったので、サンプル写真が撮れなかった。
- 11: 長期の休暇をいただけなかったため、調査期間が限られ厳しかった。

- 12: テーマの設定に苦労した。
- 13: 長島先生の指導、特に聴き取り調査項目の指導は役に立ちました。
- 13: 聴き取り調査に協力していただいた人々に感謝したい。
- 13: 2年の後期ごろからゼミ形式の授業を始めた方がよい。
- 14: 非常につまらなかった。
- 15: もう水の中に潜るのは当分いいです。
- 15: 先生の指導には感謝しております。
- 16: いつも自由に使えるパソコンが2台しかないため、必要な図を作るとき不便だった。
- 17: 時間不足。
- 18: 論文用紙は文字数さえあっていれば何でもよいと思う。特にワープロなどの場合。
- 18: 提出から口頭試験までの時間が長すぎる。
- 18: ゼミなどは参考になった
- 19: 大変すばらしい指導をしていただき、感謝しています。
- 20: ゼミは2年の方が卒論の指導も早くからできて良いのでは？
- 20: 論文用紙はワープロ、パソコンで打ちやすいものに変えた方がよいと思う。
- 21: 私は長島教授のゼミを3年生の秋から受けてきましたが、ゼミスタートの金沢巡検から地理学の楽しさ、興味が一気に増しました。あの巡検から自分の足で色々なところに行き、人にあい資料をあつめて論文にした時、すごく充実した感じを持ちました。長島先生のゼミに参加してから外を歩くのに神経を使うようになりました。いつも何かを見て考えるようになりました。
- 22: つらい きびしく……。取り組みをはやくすべし。
- 23: 自分で研究することの大変さがわかった。
- 24: 「卒論の手引」がとても役に立った。私にとっては、バイブルのようなものでした。
- 24: 調査地域を良く歩きました。アンケートに時間がかかった。
- 24: 卒論のゼミは、2年生より始めて欲しい。
- 25: 長島先生の手引のおかげで卒業論文が書けたと思う。
- 25: 厳しいゼミながらも、それは後で役に立つ。
- 25: 誤字脱字、乱筆乱文については、よく確かめてから提出しましょう。
- 26: 50枚書くのが大変でした。
- 27: 活動開始時期が遅かった。
- 28: テーマが大きすぎて手に終えなくなりました。
- 32: 卒論の準備が遅れて大変であった。
- 32: 論題はしっかりしたものではないとだめだと思う（一日ぐらいで決めたものでは駄目。途中でくじけます）。
- 33: もっと早くから取り組むべきだった。
- 34: もっと早い時期から始めていけばよかった。
- 34: 調査に行っているいろいろな人に会えたことはよかったと思う。
- 34: かなりお金を使いました。
- 35: とにかく早め早めから始めればよかった。
- 35: 4年は時間の使い方が勝負。
- 36: やはり卒論、ゆとりをもって行うべきでした。
- 37: 後悔先にたらず（格言ぜよ）。
- 38: 最初の頃は長島先生のゼミが厳しくてついていだけで精一杯でしたが、もし長島先生の指導がなければここまででは書けなかったと思います。どうもありがとうございます。
- 39: 論題について、テーマが大きいと思ったのでまとめるのに一苦労した。
- 39: 聴き取り調査では、相手の対応が冷たかった。市役所の方は丁寧で助かった。
- 40: 資料をくわしく分析する時間（アンケート含む）をもっと取れば良かった。
- 40: 卒論の手引は非常に役に立ちました。付け加えるとしたら、良く理解できない人のために論文そのものの見本を作り、常に調べられるようにしたほうが良い（先輩のものが良いとは限らないから）。
- 42: 文章や内容は、自分では大丈夫と思って他人が見ればまだまだ見落としが多い。これでもか！くらいまで確認をする必要があった。
- 42: 研究の目的は確実なものとしなければならない。
- 42: 早めに下書きを書き始め、全ての文章を先生に目を通してもらうべきであった。
- 43: とても大変だった……。
- 44: 先生の指導にそって論題を決め、卒論を書いたのが命とり。
- 45: 過去の論文を調べやすいようにしてほしい。
- 46: 課題研究の授業を3年の後期からでなく、前期からつまりもっと早くから始めれば良いと思った。
- 47: 卒論提出は1時間前に済ませる（最低でも15分前）。計画的に行う。徹夜はしてはダメ。
- 48: 卒論審査が最も印象に残った。

2. 地理学教室への要望があったら書いてください。

- 1: エアコン導入
- 3: クーラーを入れて下さい。
- 3: もう一台パソコンを入れて下さい。
- 6: 教室が狭い。今の倍は欲しい。
- 11: 冷暖房完備、喫煙所設置。図書の充実。ノートパソコンの購入。
- 12: 研究室はみんなに開放しよう。
- 15: 研究室が狭い。駒沢大くらいの実験室がほしかった。
- 16: もう少し部屋が広がってほしい。備品がもっと充分あるとよい。
- 17: せまい。
- 18: 機材が少ない傾向にあるため（使いたい機材が少ない）、1年生の時から定期的にアンケートを取り要望を常に取り入れることが大切だともう。これは項目3にも当てはまる。
- 18: パソコンが少なすぎる。学生数に対して使えるパソコンが少なすぎる。これでは困る。
- 18: 授業内容をもっと濃くして欲しい。
- 19: もう少し備品（コンピュータ）などを十分に整備してほしい。
- 20: パソコンは学生に1人1台位の割合で導入したほうがいい。特にリモートセンシングの講義では、1人に1台でないと理解できないと思う。今後導入するパソコンは、32ビット3.5インチFDDのものが良いと思う（ワープロとの互換のため）。
- 21: 私のゼミの教授のように、真剣で厳しい先生がもっとほしい。最後には自分の地理学が向上するからです。
- 22: 近寄りやすい。
- 22: 研究室が十分活用されていないと思う。
- 23: 全体として雰囲気はよいのですが、おとなしい生徒にとって資料室に入りづらいような気がします。
- 24: 地理学教室の部屋を広くしてほしい。
- 24: 他大学の地理学教室との交流が欲しい。
- 24: 東京の地理の書籍をふやして欲しい。
- 26: パソコンの台数を増やして下さい。
- 27: 交通地理学の講座が欲しかった。
- 28: きれいにしてほしい。
- 32: もっと多くの人が使えらるコンピュータなどの充実。
- 32: 一部の人達だけでなく、もっと多くの人が使えらるようにな開放を！
- 33: 近寄りやすい雰囲気であった。
- 35: 大改造を希望する。
- 36: 研究室はゼミ単位のもので欲しいです。
- 37: 私だけでも知れませんが「入りにくい！（雰囲気）」←私のダチが皆無。オープンな空間にしてほしい。すなわち、地理学教室でゼミをするのはやめてくれ。
- 42: 地理学の卒論を書く上でヒントになるあらゆる文献をこれからたくさん取り入れて下さい。
- 42: 地理学教室が改装されるそうですが、今より地理研究にふさわしい教室になることを期待します。
- 43: 就職が決まっていた4年生に単位をくれなかった先生は、人間として少し考えがおかしいと思う。1、2教科のために、高い学費を払うことを考えてもらいたい。人生を変えてしまうことを簡単にしてしまう体質を改善してほしい。今年度は働きながら学校に通ってこのくらしみを人生のかてとして一生忘れない。卒業させろ！！。
- 44: きたない。整理整頓。
- 45: もう少しスペースが欲しい。
- 46: 地理学教室の資料、文献などを別室に図書館のようにすれば良いと思う。先生などが一緒の部屋だと気まずいという感じがある。
- 47: 冷暖房完備。
- 48: パソコン、プリンターを後輩のために増やしてあげてください。

3. 文学部（又は、大学全般）について要望があったら書いてください（例えば、文学部事務就職指導・設備に対する要望など）。

- 2: ガイダンスの期間が短く、履修登録のさいに授業をいろいろ見てからよさそうなものを取るという他大学では当然のことが出来ないで、学生としては選択の幅がせばまり、これでは困る。
- 2: 卒業準備委員会全般にイえることであるが、一見この委員会というのを作り民主的な運営をしているように見えるが、実はほとんどの場合出入りの業者が勝手に決めたものを委員会は承認するしかないという方法が取られていて委員は飾りであり問題である。
- 2: 出席カード制の廃止。
- 3: 学食をきれいにして下さい。
- 4: 出席カード廃止。
- 5: 本田主事へ一言。この4年間面倒をみてくれてどうもありがとうございました。
- 6: 今の教養部（1，2年）と専門（3，4年）を同じ校舎にして欲しい。
- 6: 学食をきれいにして下さい。
- 8: 学食をきれいにしてほしい。
- 8: 学食の混雑緩和。
- 8: 鶴川駅よりスクールバスがあるとよい。
- 11: 女性の専任を雇ってほしい。
- 11: 実験・実習用の教室を作って欲しい。
- 11: ビルディング並の校舎（小野路・多摩はいや）。
- 15: 就職指導なんてぜんぜんなっていないと思います。より早く情報を！
- 16: 就職指導は少しも役に立たなかった。
- 17: 出席カードを取るのをやめてほしい。
- 18: 大学は学生から授業料を取っているのだから、学生各人にその使途を明記したものを各人宛に送るか何らかの方法で伝えるべきだ。
- 18: 生協が無いと困る。また、学内業者間の自由競争が皆無のため、独占企業化しており、いろいろな面でのサービス低下がみられる。
- 18: 大学に言えることであるが、学生の意見を取り入れる気が全く無い。これでは、国士館という存在は10年後には無いと思う。現在、受験生がぞうかしているため少しはレベルが上がったとヌカ喜びしているヤカラがいるが、数年後学生数が減少した場合このような対応がおそく、みるべきものがない大学は経営困難になるのは目に見えている。
- 18: 見た目より、内容を充実すべきである。
- 18: あのような封建的な就職指導をするような形態を持続するのなら、就職課はいらない。
- 19: 就職指導が不十分である。本来自分が積極的に行動すべきものではあるが・・・。
- 20: 学食はもっときれいに、広く、安くあるべきだと思う。
- 20: 就職指導らしい就職指導を受けた記憶がない。
- 20: 1年から4年まですべて世田谷校舎で講義を受けたほうが良い。
- 21: 事務関係の方もすごく真剣に対応してくれる本田主事がいたから、ずいぶん助けてもらいました。
- 22: とにかく設備が悪い（学食など）。
- 23: もう少し教室の整備をして欲しかった。
- 24: 外国語学科（英米文、英語英文など）を開設して欲しい。
- 24: 食堂を広くして欲しい。
- 24: 文学部の事務室を広くして欲しい。
- 26: 冷房をつけて下さい。
- 27: 就職指導の時期はもっと早めた方が良いと思う。
- 28: 学食をきれいにしてほしい。
- 33: 学校が汚い。
- 33: 学食がまずい。
- 33: 駐車場が無い。
- 35: 就職指導はあってないようなものだった。
- 35: 他大学の学生と就職の情報を交換した（国士館はだめ）。
- 36: 学食は各館ごとに設置して欲しいです、
- 36: 階段教室は2階分くらいの大きなものが欲しいです。
- 37: 大学生は学生服をやめる（笑われてんだぞ）
- 37: 食堂の整備。アンブランはいらない（まずい！）。

- 37: 一般学生の居場所がない。学生がのんびり出来る空間があればよい。例えば屋外に公園（広いの）があったらと思う。生協をつくって
- 38: お願いだから、普通の大学並の設備ぐらいはそろえてほしい。
- 39: 教授・事務の方、このままでいいと思う。
- 40: 校舎の内外をもっときれいにしたい。
- 40: 図書館の本の数が少ない（もっと新しい文献を）。
- 41: 学食をなんとかしてほしい。
- 42: 大型の学生ホールは必要ですが、1人に対する寄付金が高すぎて話になりません。
- 45: 校舎が汚い。キャンパスが狭い。
- 46: 授業を待っている間などの待合室のような談話室があれば良いと思った。
- 47: カラーコピー導入。
- 48: セミナーハウスが欲しい。
- 48: 学費の使途の明細書欲しい。

4. その他

- 2: この学校に入ってまず、入学式に君が代を歌われバンザイをさせられた。これでは、せっかくやる気になって入った学生が学校をやめなくなる。
- 2: 教育機関が、当局の思想を押し付けるのはもってのほかだ。
- 2: 入学してから、しばしば「おい」、「きさま」などと、人権を無視した言葉で呼ばれた。
- 6: 長島先生ありがとうございました。あの厳しさは忘れません。
- 7: 学生時代には何でもよいから1つ、何か納得のいくまでやるのが大切だ。
- 10: 太田先生ありがとうございました。
- 11: 長谷川先生の一年以上の御指導ありがとうございました。
- 13: 環境アセスメントの授業を受けてみたかった。
- 15: 4年間お世話になりました。私の勤め先の本を買って下さい。執筆もよろしくお願いします。
- 16: 先生方にはいろいろお世話していただき感謝 感謝！
- 21: 今、卒論の面接を終わりましたが、注意されたこと、先生のアドバイスを聞いて、もう一年あったらもっといいものができるかもと考えています。
- 25: 学芸大学の助教授、青木栄一氏の交通地理学を学びたかった。
- 27: 就職活動は積極的に！求人がきていない会社にもアタックをかけた方がいいぞ！
- 28: あまり勉強をしなかったが、楽しい4年間だった。
- 30: 学食が汚かった。
- 31: 相談しやすい雰囲気を作ってほしい。
- 32: 机と椅子をなんとかしてほしい（すべての部屋を階段教室ぐらいの設備に）。
- 32: 学食は狭いし、汚いので改造してほしい。
- 33: 女の子が少なくてさみしかった。
- 34: 卒業させて下さい。
- 35: 疲れた。
- 36: 世田谷校舎は嫌いです。
- 40: この4年間は私にとって非常に苦しかった。それゆえに充実していた時かも知れない。とにかく学業と生計を立てるためのアルバイトの両立は厳しいものであった。
- 42: 卒論発表が終わって一気に身体がふやけました。
- 46: 早く卒業して就職したいです。
- 47: 卒論の8単位は少なすぎると思う。教職受講者は優遇してほしい（単位修得優遇）。

昨年度（1990年度）地理学教室予算

地理学教室の運営は学納金でおこなわれていますが、昨年度の予算の使途概要は次のようなものでした。教室の総予算は 620万円ほどですが、そのうちの6割を占める特別実習費が1～3年までの巡検費用に充てられました。校費は、図書資料の購入や消耗品（講義用プリントのコピーなども含む）の購入に充てられました。研究費は、研究・教育用機材の購入に、測量予算は測量実習用機材や実習用消耗品の購入に使用されました。

	予算	支出	消化率
特別実習費	3,557,000	3,549,941	99.8
校費	596,000	598,373	100.4%
研究費	1,836,000	1,845,345	100.5
測量予算	210,000	205,864	99.5
	6,199,000	6,199,523	100.1%

研究室購入備品リスト（1990年度）（主要なもの）

- ・粒度分析用ふるい一式（税込み）
- ・アリダード 12セット
- ・積算記録計（内臓バッテリー、通信ケーブル付）
- ・情報処理機器（鶴川校舎用パソコン）一式
- ・平板測量セット 8セット
- ・平板一式 10セット
- ・オートレベル（阿部設計 Model2703）

研究室購入図書リスト（1990年度）

A：朝倉書店

地形学（佐藤他）
地球環境の変容（西田他）
新版気象学概論（山本）
水文学（市川）
大気環境論（河村）

B：培風館

生態学概説（ホヱカ）
生態学の基礎（上）（ワグ）

C：地人書館

新版小気候（吉野）

D：大学図書

地域開発と水環境（信州大）

H：平凡社

ロシア・ソ連を知る事典
オセアニアを知る事典

H：法政大学出版会

森林（四手井）

I：岩波書店

地球環境の危機（内嶋）
自然と地誌の記録（I）
自然と地誌の記録（II）

J：人文書院

地球環境の中の琵琶湖（吉良）

K：恒星社厚生閣

沿岸環境調査マニュアルⅠ（日本海洋学会）
沿岸環境調査マニュアルⅡ（日本海洋学会）

N：日刊工業新聞社

地図情報システム入門

N：日本評論社

巨大地震と大東京

K：共立出版

地質図の読み方・書き方（藤田）
リモートセンシング用語辞典
日本の地質
東北地方
近畿地方
パソコンによる地質図学入門（塩野他）
パソコンによる地質図学演習（塩野他）

K：古今書院

地形分類の手法と展開（大矢）
環境と生態（斉藤他）
海岸における諸作用と海岸線の発達（ジョンソン）
湖沼調査法（半田他）
丘陵地の自然環境（松井他）
土壌地理学（浅海編）
世界の土壌（永塚他）

雪氷辞典
 変動地形とテクトニクス
 地理情報システムの原理
 地理情報処理のためのプログラミング入門
 地理情報の分析手法
 地域分析
 地理6月臨時増刊 新「地理A」を創る
 地理7月臨時増刊 新「地理B」を創る

T 大明堂

地域研究法 (上野)
 植生地理学 (林)

T 東京書籍

地球環境用語辞典 (ラブロック)

T 東京大学出版会

日本の第四紀地図 (日本第四紀学会)

日本気象協会

Ana Aviation Weather (基礎編) (全日空)
 異常気象レポート89
 台風物語 (によ村)
 異常天候監視報告 (気象庁)
 気象測器取扱指針
 地上気象観測装置編 (気象庁)

地域観測測器編

気象海象模写放送図の解説 (海洋気象学会)
 気象模写放送スケジュールと解説 (気象庁)
 気象FAXの利用法 (日本気象協会) ---
 気象衛星資料の予報への利用 (気象庁)
 気象衛星システムと概説 (気象衛星センター)
 北太平洋海洋気候表 (気象庁)
 農作物と気候 (気象庁)

日本測量協会

測量・地図年鑑

M 丸善

都市緑地計画論 (丸田) 1986
 雪の話水の話 (木下)

S 成山堂

海洋気象のABC (福谷)

S そしえて文庫

気候の語る日本の歴史 (山本)

T 東京大学出版会

風の世界 (吉野)
 The Landforms of Japan (吉川他)
 身近な気象の科学: 熱気流の流れ (近藤)
 SASによるデータ解析入門 (竹内他)
 緑地保全の生態学 (井出)
 自然環境の変貌 (多田)

自然保護ハンドブック (沼田編)
 大気の大循環 (岸保他)
 大気汚染物質の動態 (磯野)
 大気環境の変化と植物 (門司)
 大気大循環と気候 (廣田)
 都市の大気環境 (河村) ---

T 東京電機大学出版局

日本の自然観の変化過程 (斉藤)

T 東京堂

大気と放射過程 (8) (会田)
 大気大循環論 (新田)
 新総観気象学 (7) (松本)
 水循環の科学 (3) (武田)

T 築地書館

シダ・コケ類の生態と観察 (井上他)
 生物地理学
 生態学 (オグサ)

U 内田老鶴園

高地植物学 (柴田)

Y 山と溪谷社

最新地形図入門
 日本の高山植物

Y 有斐閣

アメリカ南部の夢:
 ニューサウスの政治経済文化 (井出他編)
 森林社会学宣言 (内山)
 自然保護の法と戦略 (山村)

Y 雄山閣

暦と時の事典 (内田)

B 培風館

生物顕微鏡の基礎 (八鹿)
 植物観察入門 (原他)

B 文永堂

風害と防風施設 (真木)

G きょうせい

公害関係法令解説集
 水と緑の国土計画: 流域圏管理の構想

H 白亜書房

豪雨・洪水防災 (高橋)

H 平凡社

世界有用植物事典